

# 木村家の人びと

心のふところ、お元気ですか。お金サマで幸せです！

木村家の人びと

鹿賀丈史

桃井かおり

岩崎ひろみ  
伊崎充則

会社の人びと  
鳥越マリ  
酒井敏也  
上田耕一

小学校の人びと  
江森陽弘  
津村鷹志

町の人びと  
竹中直人  
蟹雪次郎  
ベルバ 菊木  
ベンガル

雨宮家の人びと  
柄本明  
木内みどり  
風見章子

高倉家の人びと  
小西博之  
清水ミチコ  
中野慎

老人会の人びと  
加藤嘉  
多々良純  
今井和子

企画・村上光一  
プロデューサー・吉川秀司  
河井真也



撮影・志賀葉月／照明・牛島一男  
音響・志賀葉月／美術・中澤克己／撮影ヘラルド・エーベス 日本クラフト映画  
制作・アーティスティック・企画・制作・メリエス／配給・ラグビーワールド

Reall

# 木村家の人びと

木村太郎（10歳）  
家族でただひとり、グズで要領が悪く、金もうけがうまくできない。『金、金、金でいいのかなあ…』と密かに思い悩む  
今日この頃…。

# 木村家の人びと

木村照美（11歳）  
両親と同様、金もうけに才能を發揮。子供会の指揮をとり、配品回収などで稼ぎまくる。子供のくせに家に食費を入れている。

木村典子（32歳）主婦。

悶え声のモーニングコール、大量の弁当作り。など、など、小銭稼ぎに奮闘の日。だが…、最近隣りの高倉家のご主人とア・ヤ・シ・イ。

資料編纂室に席を置く。無遅刻無欠勤無早退の皆勤賞。朝の新聞配達、個人タクシー、会社での弁当売り、タイムカード代理業、学生の試験用ノートのコピーetc etcに精を出す。

## 「錢テク」のキワミ!?

勉強より金/ビジネスより金/そして、愛情よりも金!  
木村家の人びとは、豪邸を建てる目的があるわけではなく、ローンに追われているのでもなく、海外旅行を楽しもうというわけでもない。ひたすら金を信じ、ひたすら金を

愛するが故に、日夜、小銭稼ぎに精を出す。彼らの凄まじいまでの金への執着、一切無駄のない生活スタイル。これはまさにハラハラドキドキの一大スペクタクルだ!!

## 滝田映画のブラックが光る

86年「コミック雑誌なんかいらない」で世を騒がせた滝田洋二郎監督。一般映画としては、にっかつ「いとしのハーフムーン」に続く待望の3作目。「コミック雑誌なんかいらない」で観客に与えた衝撃と毒が、今度はどんな冴えを見せてくれるか、大いに期待が持てるところである。

原作は、小説新潮新人賞受賞、谷俊彦の同名小説。脚本は、「私をスキーに連れてって」などで注目の若手ライター、一色伸幸。撮影は、滝田とコンビの長い志賀葉一。照明は矢部一男など、ベテランが参加している。

## 日本映画界に喝!

87年12月フジテレビジョン、ヘラルド・エースが個性豊かなミニ・シアターとしてスタートさせたシネスイッチ銀座。その第3弾として登場するのがこの「木村家の人びと」である。フジテレビジョンが、新しい映像作家の育成を兼ね、低予算ながら質の高い日本映画を製作、提供していくというシリーズの輝かしいスタートを飾る作品となるわけである。

この「木村家の人びと」を皮切りに、日本映画界に一石を投じ、歴史の1ページに残る作品群が続々登場することになろう。

## 物語

木村家の奇妙な朝は早い。手製の錢袋を各自さげた木村家一同が居間に整列するのが午前6時。木村肇「番号1円」妻・典子「10円」長女・照美「100円」長男・太郎「1000円」全員の声が近所まで響き渡る。「1万円!おおッ!」

木村は、自転車で新聞販売店に滑り込み、典子は、電話に向かってモーニングコールの悶え声を出す。照美も太郎も手伝って大量の

弁当作りが始まる……。

やがて木村家の庭に近所の爺婆、約30人が喜々と整列を始める。木村が運んできた新聞は、この老人たちが配達するのである。老人たにとっては、ボケ防止、運動不足解消、おまけにわずかばかりの小遣い錢にもなる、というわけ。その上婆さんたちは、きんびらなどの“お袋の味”を作つて持つて来る。このおかずは、出前朝食と配達弁当に使われる。家族4人の流れ作業で弁当作りが進み、手分けして出前朝食が近所に配られる。

昼食用の弁当を積んだ木村の通勤用の車は、個人タクシーに早変わり。近所の会社員や口上を相乗りさせて送るのだ。車中には有料の髭剃りやりキッドまで用意されている。

会社での木村は、弁当を販売し、タイムカードの代理業を引き受け、人事移動予定表を作つて売り回り、コピー機を利用して、学生の試験用ノートを大量に複写して稼ぐ……。社内の不倫などの情報を収集し、口止め料を取る…etc、etc…。

だが…。実は尋常でない木村家の中で太郎は密かに思い悩んでいた。“こんなこといいんだろーかー”。太郎だけは、純粋な心を失わずにいたのだ。そんな太郎のもとに叔父から書簡が届く…。

## 演技派、個性派がズラリ

キャストは、木村肇に鹿賀丈史。妻・典子に桃井かおり。82年、野村芳太郎監督の「疑惑」以来の演技派同士の顔合せとなった。子役に岩崎ひろみ。TBS「親子ジグザグ」などでお馴じみの伊藤充則。他に柄本明、木内みどり、小西博之、清水ミチコ、加藤嘉、鳥越マリ、江森陽弘などの面々。個性豊か、豪華多彩な顔ぶれが揃って、木村家の恐しい朝が始まろうとしている……。

## 3月春休みロードショー

連日 10:30 12:30 2:30 4:30 6:30 8:30

シネスイッチ銀座  
CINE SWITCH GINZA

銀座4丁目交差点和光ウラ (561)0707

前売鑑賞券絶賛発売中!

一般1,200円・学生1,100円・ペア券2,200円  
(当日料金/一般1,500円・学生1,300円のところ)